

《株式会社エフエム東京 第400回放送番組審議会》

1. 開催年月日:平成 25 年7月2日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数 6 名(社外 6 名 社内 0 名)

◇出席委員(4 名)

横 森 美 奈 子 委員長	内 館 牧 子 委員
香 山 リカ 委員	西 田 善 太 委員

◇欠席委員(2 名)

渡 辺 貞 夫 委員	秋 元 康 委員
------------	----------

◇社側出席者(11 名)

富木田 代表取締役会長  
千 代 代表取締役社長  
唐 島 専務取締役  
石 井 常務取締役  
平 常務取締役 営業局長  
藤 取締役 マルチメディア放送事業本部長  
山 科 常勤監査役  
村 上 執行役員 編成制作局長  
延 江 編成制作局 ゼネラルプロデューサー  
宮 野 編成制作局 編成制作部長  
高 橋 編成制作局 番組プロデューサー(オブザーバー)

◇社側欠席者(0 名)

【事務担当 村上放送番組審議会事務局長】

4. 議題: 番組試聴 (約 20 分)

感じて、漢字の世界

毎週土曜日 7:30~7:40

《議事内容》

議題1:最近の活動について

◎渋谷スペイン坂スタジオが 20 周年

6 月 19 日(水)渋谷パルコ PART1 1F にあります TOKYO FM 渋谷スペイン坂スタジオが 20 周年を迎えました。

渋谷スペイン坂スタジオは、1993 年 6 月 19 日(土)にオープン。観覧ができるサテライトスタジオは、渋谷の新名所として話題を集めました。オープン以来、のべ 2500 組のゲストをお迎えしてまいりました。

当社にとっては、若者リスナーと直接触れ合うことのできる重要拠点でもあり、ここから発信されてきた音楽カルチャーの歴史と変遷は、そのまま 90 年代以降の音楽エンタテインメント界の歩みと重なります。



(1993 年オープン当時)



(2013 年現在)

記念日の当日となった 6 月 19 日は、「Blue Ocean(9:00～11:00)」、「アポロン(13:00～14:55)」、「シンクロのシティ(15:00～17:00)」、「Skyrocket Company(17:00～18:45)」の計 4 ワイドを、渋谷スペイン坂スタジオからの公開生放送といたしました。

ゲストには、当日のみ「スペイン坂 46」に改名をした「乃木坂 46」のメンバー、DREAMS COME TRUE の中村正人、AKB48 の 柏木由紀といった人気アーティストが出演。この 20 年間の音楽・カルチャーシーンを振り返りながら、記念日を盛り上げました。放送では、オープン最初にゲストに登場した福山雅治からもお祝いのメッセージが届きました。水曜日という平日にもかかわらず、のべ 650 名を超えるリスナーが観覧に訪れました。今後も、ガラス1枚を隔てた目の前で、憧れのアーティストに会える感動を提供してまいります

▼Blue Ocean に「スペイン坂 46」出演

▼アポロンに、中村正人 出演



- ▼シンクロのシティでは、  
「スペイン坂 46」メンバーがボイス収集



- ▼Skyrocket Company では柏木由紀  
(AKB48) が生歌を披露



### ◎今夏の主なイベントについて

TOKYO FM では、2013 年夏も多くのイベントを実施します。その中から主なイベントをご紹介します。

- ◆日比谷野音90周年記念「渡辺貞夫×山下洋輔」  
期日 7月27日(土) 開演 17:30

大正12年に開設された日本最古の野外音楽堂であり、音楽の聖地として伝説を生んできた日比谷野音が90周年を迎えます。

これを記念し、日本の JAZZ 界を牽引してきた二人の巨人渡辺貞夫氏と山下洋輔氏による真夏の夜の競演を主催いたします。



- ◆音楽の甲子園「閃光ライオット 2013」  
期日 8月4日(日)  
会場 日比谷野外大音楽堂

番組「SCHOOL OF LOCK」が主催する10代アーティストのための夏フェス「閃光ライオット」は、今年で6年目を迎えます。今年も全国から10,000通を超える応募をもとに各地区での選考が行われ、この日比谷の舞台にファイナリストたちが集結します。今年も10代の若きアーティストたちの「応援ガール」として女優剛力彩芽が決定し、この大会を盛り上げます。



◆アンドレアス・グルスキー展

開催期間 7月3日(水)～9月16日(月・祝)

会場 新国立美術館

ドイツを代表する写真家アンドレアス・グルスキー 日本初の個展を開催します。パノラミックな視点と圧倒的なスケール感で生み出される緻密な美しさが特徴で、全てが等価に広がる革新的な視覚世界を構築し、その技法は国際的に大きな注目を集めてきました。2011年には作品「Rhein II」が、NYのクリスティーズで現存写真家史上最高額となる約3億3千万円で落札されるなど、その人気は世界最高峰とも言われています。

本展覧会では、初期作品から最新作まで約65点を一堂に公開します。

◆海の家ライブハウス「SEACRET BOX by OTODAMA」オープン

開催期間 7月9日(火)～8月30日(金)

会場 鎌倉由比ヶ浜 SEACRET BOX by OTODAMA



今年で9年目を迎える逗子海岸のライブハウス「音霊～OTODAMA SEA STUDIO」が、その実績と人気を引っ提げ、今年の夏、鎌倉・由比ヶ浜に新たなライブハウス「SEACRET BOX by OTODAMA」をオープン、当社はその運営に携わります。

期間中は連日注目のアーティスト、ミュージシャンがラインナップされ、真夏の海を音楽で彩ります。

7月15日(月・祝)の海の日には、ホリデースペシャル「キリン カリブーン presents BOON BOON SUMMER」と銘打った公開生放送を現地から実施するなど、放送とも連携を図ります。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

○ライブハウスでは、毎日ライブがあるのですか？

■8月はほぼ毎日予定があります。

○グルスキー展はどのような縁で開催に至ったのですか？

■読売新聞と一緒に、出資の形で入っています。

番組でも告知を入れたり、TOKYO FM の出演者が展覧会にあたりメッセージを寄せたりしております。

○渋谷スペイン坂スタジオは、20 年よりもっと前からあったような印象がある。



## 議題2：番組試聴 （約 20 分）

【番組名】 感じて、漢字の世界  
出演者：山根基世

【放送日時】 毎週土曜日 7:30～7:40

### 【番組概要】

現代はネット時代と言われています。SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）も普及していますが、多くは友達同士のコミュニケーション用で、いわば無自覚に言葉を消費しているだけだとの指摘（「声に出して読みたい日本語」著者 斎藤孝 明大教授）もあります。こうした情報の洪水の中で、敢えて言葉ひとつを選択する番組を作りました。

漢字には、一文字ずつストーリーがあります。約三千二百年前に生まれた当初は、象形文字と言われ、もともとは絵でした。それから様々な意味をもつ字が組み合わされ、新しい漢字が産み出されてきました。そこには、古代の人たちの社会に対する考え方や、ヒトや自然に対する思いが込められています。

雲の流れ、星の瞬き、草原を駆け抜ける動物たち。手のひらの上で漢字をなぞってみると、物語が見えてきます。この番組は、毎回、季節や行事を鑑みながら、漢字一文字を取り上げて、それにまつわるストーリーを紹介します。漢字をめぐる「旅」を通じて、いにしえの人たちが眺めてきた風景についてイメージし、漢字の奥深さ、おもしろさ、生きていく知恵や勇気を通して、現代人の「生きるヒント」を探る番組です。

本日は、5月11日放送の「母」、4月13日放送の「馬」の回を続けてお聴きいただきます。

5月の「母」は、母の日に、4月の「馬」は、桜花賞にちなんで選んだテーマです。

7月からは、土曜の朝とは別のリスナー層にも聴いていただくため、毎週金曜 20:54～21:00 に、短縮版を再放送することとしております。

### 山根基世



フリーアナウンサー。

1948年山口県生まれ。1971年早稲田大学文学部卒。同年、NHK入局。主婦や働く女性を対象とした番組、美術番組、旅番組、ニュース、「ラジオ 深夜便」、NHKスペシャル「人体」「映像の世紀」等、大型シリーズのナレーション多数を担当。2005年女性として初のアナウンサー室長。2007年NHK退職後、「子どもたちのことば」を育てることを目的に、LLP「ことばの杜」を設立。朗読会、読み聞かせ講座、

教育教材の開発、指導者への支援など、放送経験を生かした様々な活動を行っている。2000年・放送文化基金賞、2009年・徳川夢声市民賞受賞。東京大学客員准教授、女子美術大学講師等 歴任。「ことばで『私』を育てる」(講談社文庫) 他、著書多数。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見 / 「■」社側説明)

○ターゲットがどの世代なのかわからなかったが、教養番組を聴くのがとても新鮮だったのと、現代のスピードへの挑戦、「間」もフルに活用して挑戦している感じがした。「母」の回は聞き慣れた内容だったが、「馬」のエピソードは、時空を超えて殷の時代にまでさかのぼり、想像して聞き入ってしまった。正直、中身には文句のつけようがない。一点、本編と全く合わない DNP の CM はいかがなものかというのは皆感じるころだろう。

■土曜の早朝のターゲットとして、一つイメージしているのは、朝ゴルフに向かうビジネスマンや経営者層で、知的なミニコラムとして楽しんでもらおうと意図している。

○ケチをつけるのが難しい番組だが、あえて言うなら、山根基世さんという落ち着いたイメージの出来上がっている方が、本当に山根さんらしい品のある教養の番組をやっているという、ある種予定調和的な、想像のつく番組だなという印象もあった。山根さんにはもっとお茶目な面や可愛らしい面があるはずなので、NHK ではなく TOKYO FM の番組として、山根さんらしからぬ意外性がもう少しあるといいのではないか。このようなまじめな内容を逆に意外な人が読むとか、BGM のイメージを変えてみるとか、どこかハッとつかまれる部分があると、もっと個性的で印象深い番組になるのではないか。

○今、漢字教育に課題がある中で、とても良い企画だと思う。山根さんはさすがに言葉がきれいで好印象だが、一つの問題は、ここまで落ち着いた声できれいだと言っていてひっきりがなく、スルーしてしまう。聴いても画が全然出てこない。きれいすぎる、落ち着きすぎているのではないか。

「母」のエピソードは本来もっと胸に迫っていい内容だと思うが、迫るものがなかった。良いナレーションは、落ち着いてはいても、ある独特のニュアンスがあるものだ。台本も、もっと子どもたちを惹きつけるよう内容に工夫するなど、根本的なところをもう一度考えた方が良いのではないか。

○どこにも TOKYO FM らしさ、今っぽさがないと感じた。内容はもちろん然るべきものだが、どこにも意外性がなく、異常なほどに正統派なので聴いていて言葉が入ってこ

ない。こういったラジオの教養番組を聴いたことがない、今の若い人が聴いたら、新鮮に響くのだろうか。どういう人が聴いて楽しんでくれるのかイメージが湧かない。「感じて、漢字の世界」というタイトルは軽やかでシャレも入っていて柔らかいイメージなのに、中身が堅い。山根さんがNHKではなく、TOKYO FMに来たら、こういうニュアンスも出せるのよという違う面を見せて下されば、もっと魅力的な番組になるのではないか。

■短い番組なので、山根さんのチャーミングな面を出したりする演出は考えあぐねてるところだ。反響をとっている番組ではないが、山根さんの朗読会では、必ず来る方から番組を聞いたという声があるそうだ。

■漢字が題材なので、言葉の間や声のトーンを入念に議論してスタートし、面白みの部分を重視したわけではないのが実情だ。

#### 5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

#### 6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送:番組「JUGLIS RUN GIRLS SUNDAY」  
7月28日(日)6:00～7:30放送
- ② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

#### 7. その他

8月は休会とし、次回の放送番組審議会を、9月3日(火)に開催することを決めた。

以上